

あきたスギッチファンド公開審査会の講評

秋田魁新報社 安宅英男

第34回あきたスギッチファンド公開審査会の審査員を代表いたしまして、ひと言講評を述べさせていただきます。

まずは発表された皆様、地域の未来を見据えた素晴らしい提案をいただきありがとうございます。皆様が日ごろから地域の課題に真剣に向き合い、当事者意識を持って知恵を絞られたことが伝わる、大変素晴らしいプレゼンテーションでした。

今回の審査において、私たち審査員一同が重視したのは、「事業の継続性」と「独創性・効果性」です。事業拡大につながる取り組みか、十分な効果が見込めるか、という視点で議論を重ねました。その中で、見事に採択された団体におかれましては、ファンドのテーマに合致しており、公益性や具体性も含め高く評価されました。プレゼンでの情熱をそのままに、地域を引っ張る素晴らしい事業を展開していきましょう。また、残念ながら採択に届かなかった皆様も、地域を思う気持ちや活動の価値は変わりません。ぜひ今回の経験を次のステップへ生かしていただければ幸いです。

本日の審査会が、採択・不採択に関わらず、皆様の活動がさらに大きく飛躍する「新たなスタートライン」となることを期待いたしまして、講評とさせていただきます。